

あつぎ郷土博物館年報 5

ANNUAL REPORT OF ATSUGI CITY MUSEUM



令和5年(2023)5月

● 目 次 ●

I 建 築

1 沿 革	3
2 施設概要	3
3 平面図	4
4 展示テーマ	5

II 学 芸

1 展 示	
(1) 特別展示	7
(2) 企画展示	8
(3) その他の展示	10
(4) 展示会関連講座等	11
2 普及啓発活動	
(1) 定期講座	14
(2) 施設見学	15
(3) 出前展示・講座	17
(4) レファレンス業務	19
(5) 学芸員実習・職場体験学習等	20
(6) ワークショップ	21
(7) その他	21
3 刊行物	21
4 古民家岸邸	27
5 資料の収集・保管・活用	
(1) 資料の収集状況	28
(2) 資料の保管状況	29
(3) 資料の館外貸出等	30

III 庶 務

1 組織及び職員	
(1) 組 織	32
(2) 博物館協議会	32
2 施 設	
(1) あつぎ郷土博物館	33
(2) 古民家岸邸	34
3 入館者数	35

I 建 築

1 沿 革

あつぎ郷土博物館の建設から開館までの経緯は、おおむね次のとおり。

(仮称)郷土資料館として、平成29年度より本格的な建設準備に着手し、平成31年1月27日に開館。正式名称を「厚木市立あつぎ郷土博物館」と改めた。

平成20年6月 文化財課(当時)が市民公園(下川入)整備構想担当課に決定
平成27年3月1～30日 基本方針(案)に対するパブリックコメント実施
平成28年4月1日 (仮称)あつぎ郷土資料館検討委員会を設置
平成29年3月 (仮称)あつぎ郷土資料館建設実施設計、展示設計を実施、完了
平成29年10月 建築着工
平成30年9月 駐車場等外構工事着手、埋蔵文化財収蔵庫建築工事着工
平成30年10月31日 (仮称)あつぎ郷土博物館竣工
平成30年11月～ 展示工事着手
平成31年1月18日 展示工事完成
平成31年1月27日 あつぎ郷土博物館開館
あつぎ郷土博物館条例が施行される。
平成31年3月24日 来館者1万人達成
令和2年6月28日 来館者5万人達成
令和4年10月16日 来館者10万人達成

2 施設概要

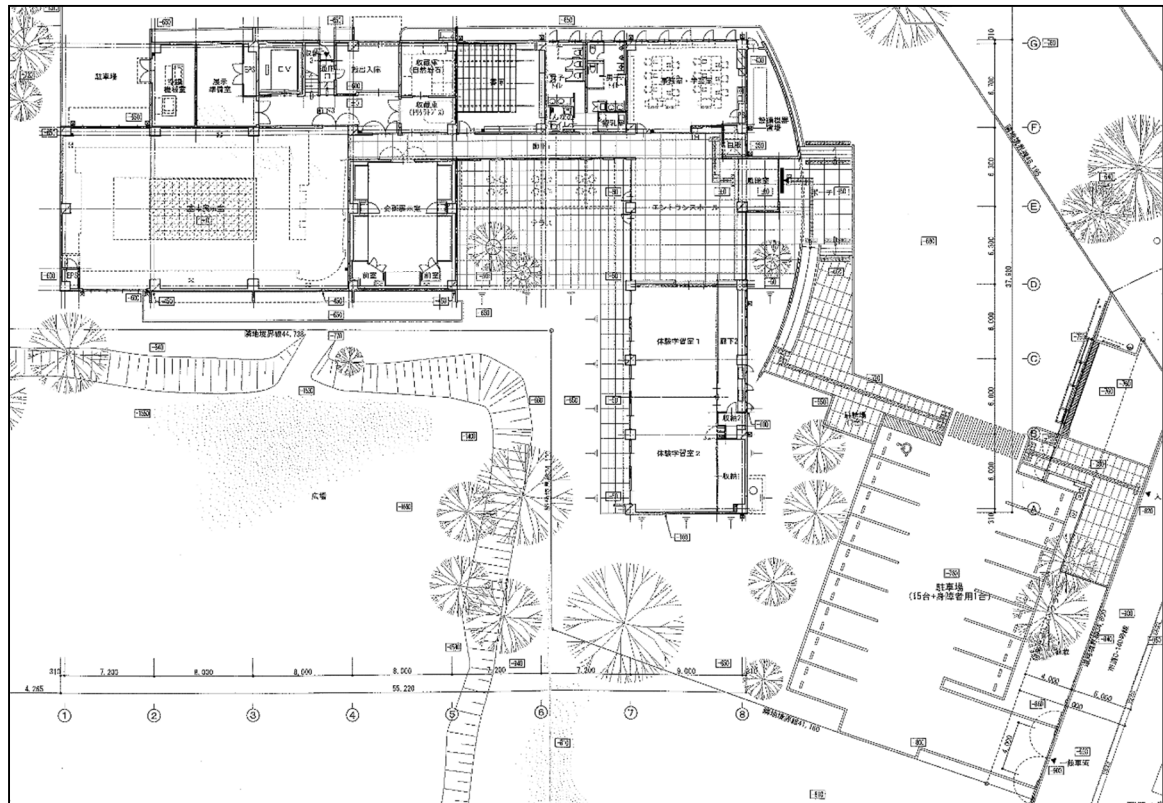
所在地 神奈川県厚木市下川入1366番地4
敷地面積 10,025㎡
建築面積 1,590.10㎡
延床面積 1階 1,092.59㎡、2階 497.51㎡
構 造 鉄筋コンクリート造 2階建
工 期 着工 平成29年10月
完成 平成30年10月
開 館 平成31年1月27日

工事関係者一覧

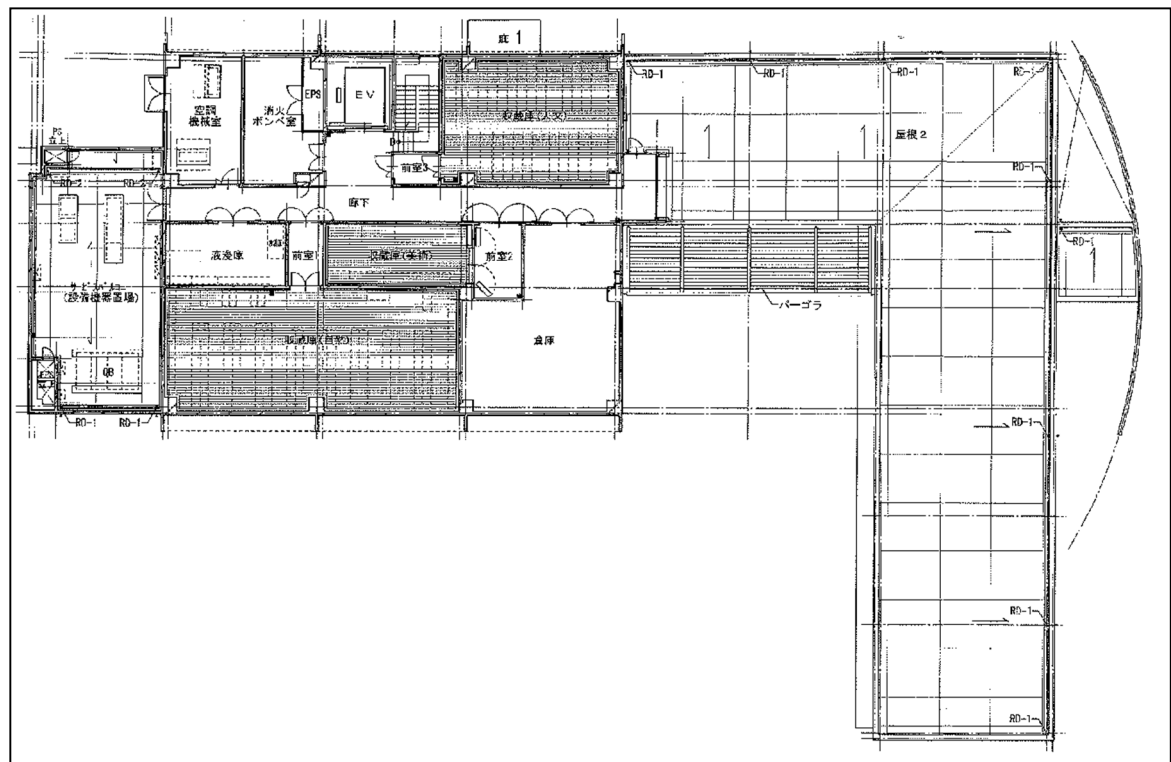
建築設計・管理	株式会社 小林建築事務所
展示設計・管理	株式会社 丹青社
建築工事	山王・安藤特別共同企業体
外構工事	山王・安藤特別共同企業体
展示工事	株式会社 丹青社

3 平面図

・ 1F



・ 2F



4 展示テーマ

「基本展示」は、地学・考古・歴史・民俗・自然の5つの分野で構成し、各分野でさらに項目、細項目をたて、郷土あつぎを理解できるような展示としている。実物資料を中心とする興味深い資料を展示し、具体的なデータはパネル等で説明している。

また、分野を横断して1つのテーマに取り組む「融合展示」は開館以来、毎年、展示内容を更新しているが、令和4年度のテーマを「火・光」とした(=写真)。

- ① 展示面積 304.15m²
- ② 展示資料数 638点(うち融合展示48点)
- ③ 展示テーマ、資料点数内訳

分 野	地 学	考 古	歴 史	民 俗	自 然	合 計
基本展示 テーマ	あつぎの風土を望む	あつぎの大地から	あつぎの原風景を訪ねて	あつぎの人、くらしに出会う	あつぎの環境と生きものを探る	638
基本展示 資料点数	11	157	203	106	113	590
融合展示 テーマ「火・光」		・火災に遭う ・飯炊く	・星下りの奇瑞 ・花火	・火事に立ち向かう ・花火をつくる、あげる	・灯りに集まる昆虫 ・あつぎ・四季の星座	
融合展示 資料点数		15	7	14	12	48



博 物 館 事 業
報 告

Ⅱ 学 芸

1 展 示

(1) 特別展示

有孔罎付土器と人体装飾文の世界

期 間 7月23日（土）～9月19日（月）

開催日数 57日

展示点数 58点

入場者数 特別展示単独のカウントはしていないが、期間中の
博物館入館者数は5,806人（1日平均 約102人）

縄文時代中期に関東・中部地方を中心とした地域で作られ、使用された有孔罎付土器は、平坦な口縁部のやや下に円孔が穿たれ、それに沿うように粘土帯が巡ることが特徴である。本展示では、市内外の有孔罎付土器及び人体装飾文などの関連資料を紹介しながら、豊かな縄文文化を様々な視点から理解できるような展示を行った。

また、博物館開館以来初となる重要文化財5点（一の沢遺跡出土（1点）、鋳物師屋遺跡出土（1点）、釈迦堂遺跡出土（3点））の展示を実施することができた。他にも、山梨県、長野県指定文化財各1点、相模原市指定文化財3点、東京都調布市指定文化財1点とそれぞれ貴重な文化財を展示した。

来館者は、厚木市内のみならず県内、県外から広く来館されていた。さらに、夏休み期間ということも手伝って、中学生や高校生等の比較的若い来館者もあった。

関連講座においても、縄文太鼓の演奏会や縄文クッキーづくり等の子どもから大人まで幅広い参加者があり、全ての講座において満足度も高かった。



(2) 企画展示

あつぎ郷土博物館では令和4年度、以下の企画展示を開催した。

	タイトル	期 間／日 数	入館者数 (1日平均)
1	「地域再発見！1 厚木地域 ～家康・芸妓・ヨシゴイ～」	令和4年3月26日（土）～6月26日 ／85日間（90日間※1）	5,338(63) 5,869(65)※1
2	バッターはねる、飛ぶだけじゃないバッタの魅力-	令和4年10月8日（土）～12月4日 （日）／56日間	3,817(68)
3	相模人形芝居大会第50回記念展 人形とともにー相模人形芝居の50年ー	令和5年1月14日（土）～3月5日 （日）／49日間	3,625(74)
4	「地域再発見！2 依知地域-弁財天・養蚕・鷺-」	令和5年3月29日（水）～6月25日 （金）／3日間（87日間※2）	364(121)

※1の期間及び入館者数は、令和3年度実施分を加えた数字。

※2の期間は、令和5年度実施予定を期間を加えた数字。

ア 「地域再発見！1 厚木地域 ～家康・芸妓・ヨシゴイ～」

【展示構成】(1)発掘調査からみた厚木宿(2)渡辺崋山と厚木(3)江戸時代の厚木と家康(4)近代の厚木を支えたー繭・花・鮎ー(5)町場の生活具(6)流通する農具(7)ヨシゴイ

市内の地域に焦点を絞り、その地域に由来する特徴的な資料を紹介することで地域の魅力を再発見し、郷土学習を深めることを目的とし令和4年度から新たに「地域展」をスタートした。「絹本著色 徳川家康像（掛軸）【市指定文化財】」、「線香台（木製品）」、「ヨシゴイ（鳥類はく製）」等を展示した。

イ バッターはねる、飛ぶだけじゃないバッタの魅力-

【展示構成】(1)厚木市産全26種と友好3都市産のバッタ標本と写真の展示(2)バッタの動画や鳴き声を配信(3)バッタをモチーフにした知育玩具・駄玩具・実用品の展示(4)国内刊行のバッタを主に扱った書籍の展示(5)巨大バッタ模型（長さ1.5m。既製品模型の約8倍サイズ）とカブトムシ、アゲハなど主要な昆虫模型の展示(6)バッタの生体展示(7)環境負荷が少ない昆虫食の紹介(8)ゲーム体験コーナー、図書閲覧コーナー

生物としてのバッタだけでなく、多角的な視点で玩具などの実用品や昆虫食などを紹介することで、身近な昆虫に親しんでいただくきっかけをつくり、郷土の豊かな自然を学ぶ一助とすることを目的として展示した。来館者からもバッタについて「とても細かく展示してあり、面白かった」などの感想があった。



ウ 相模人形芝居大会第50回記念展 人形とともにー相模人形芝居の50年ー

【展示構成】 prologue 相模人形芝居の50年 (1) 永田衡吉のみた相模人形芝居 (2) 相模人形1 (林座・長谷座) (3) 牧野人形 (4) 相模人形 (下中座・前鳥座・足柄座) (5) 人形芝居と三番叟 epilogue 相模人形芝居の現在

国指定の重要無形民俗文化財・相模人形芝居の展示。テーマの一つは人形の「かしら」。どのような仕組みで操られているのか、他の地域のかしらとはどう違うのかを実物で紹介することで、人形芝居への理解を深め、その「過去」、「現在」、「未来」が一望できるような展示を実施した。来館者からは「解説もわかりやすく理解できた」などの意見が寄せられた。



エ 「地域再発見！ 2 依知地域 ～弁財天・養蚕・鷺～」

【展示構成】(1)依知と養蚕の文化(2)順気社と依知の養蚕(3)依知、鷺ものがたり(4)依知地域の遺跡(5)上依知・妙傳寺の歴史(6)依知と生活改善

地域展の2回目として依知地域を取り上げた。「絹本著色弁財天十五童子像（妙傳寺蔵）」、梅澤家「蚕種帳」、「依知更生小唄」等を展示した。

(3) その他の展示

ア ホール展示

(ア) 化石

期 間 7月23日～10月4日 開催日数70日

期間中の博物館入館者数 6,127人（約88人/日）

三葉虫と虫入り琥珀の化石を展示した。

(イ) バッタ -はねる、飛ぶだけじゃないバッタの魅力-

巨大バッタの模型やトノサマバッタせんべいなどの昆虫食を展示した。

(ウ) 相模人形芝居大会第50回記念展

人形とともにー相模人形芝居の50年ー

人形、かしら、床本及び三味線などを展示した。

イ ミニ展示（基本展示室内）

(ア) 「和田でんは本当にペンネーム？」

期 間 令和4年3月26日～6月26日 開催日数90日（R4：85日）

期間中の博物館入館者数 5,869人（約65人/日）（R4：5,338人約63人/日）

(イ) 「鎌倉殿の13人とあつぎ」

期 間 6月28日～10月30日 開催日数117日

期間中の博物館入館者数 8,813人（約75人/日）

ウ 遺跡展

「遺跡まで徒歩5分」

会期 3月13日～4月9日 開催日数26日（R4：18日）

会期中の博物館入館者数 2,492人（約96人/日）（R4：1,437人約80人/日）

内容 これまでに市内で多数行われてきた発掘調査の結果、明らかになっている郷土あつぎの歴史について、調査成果及び最新の考古学的研究成果を踏まえ、出土した資料を中心とした展示を行った。

エ 「^{がくげいいん}學藝員のススメ」 広報連動展示

「広報あつぎ」15日号に「學藝員のススメ」を連載しているが、紹介した資料を基本展示室又は企画展示室に展示した。令和4年度は、線香台（4月）から市内の遺跡（3月）まで12回掲載をした。

	掲載号	テーマ（紹介資料）	展示(場所)
1	4月15日	線香台	地域展示
2	5月15日	和田傳の名前（和田傳作品）	基本展示
3	6月15日	日蓮聖人註画讃	地域展示
4	7月15日	有孔鐔付土器①	特別展示
5	8月15日	有孔鐔付土器②	特別展示
6	9月15日	有孔鐔付土器③	特別展示
7	10月15日	バッタ	企画展示
8	11月15日	ブリキのおもちゃ バッタ	企画展示
9	12月15日	三番叟面	企画展示
10	1月15日	相模人形芝居 三番叟	企画展示
11	2月15日	かしら	企画展示
12	3月15日	市内の遺跡	遺跡展示

第42回 學藝員のススメ 博物館の学芸員が、あれこれを語り倒すコーナー。

三番叟いろいろ 大野 一郎

現在開催中の企画展「人形とともに・相模人形芝居の50年」には、舞台の開始を祝い舞う日本の伝統芸能「三番叟」のコーナーがあります。市内の長谷・林座だけでなく、下中座（小田原市）、前鳥座（平塚市）、足柄座（南足柄市）のかしらや、里神楽の三番叟衣装も展示中です。

能の式三番という曲名は、能狂言だけでなく、歌舞伎、神楽、人形芝居など日本演劇の中に広く取り込まれています。三番叟のかしらは、笑い・滑稽と威嚇の表情を併せ持っています。人形

形の式三番は、えびす・大黒まわしという宗教的な人形造いの拠点であった淡路から伝わったと考えられています。これが格式ある式三番となったのは、娯楽性の高い歌舞伎などに対抗し、より権威ある神を導入するためだったのではないのでしょうか。

企画展で、三番叟人形を見比べたり、人形芝居、里神楽の歴史的な意義を考えたりと、郷土が誇る民俗芸能に深く触れてみてください。

詳しくは博物館HPに掲載

あつぎ郷土博物館 ☎225-2515

第42回 學藝員のススメ 博物館の学芸員が、あれこれを語り倒すコーナー。

遺跡へGO 佐藤 健二

皆さんの暮らしの近くに、遺跡があることを知っていますか？実は、市内には約1万年前の旧石器時代から近代までの遺跡が「埋蔵文化財包蔵地」として275カ所登録されています。たぶん、皆さんの自宅から歩いて5分程度で、どこかの遺跡に行き着くはずです。

遺跡は、学校や公民館、公園など、さまざまな場所にあります。古墳や城など、一目で分かるものもありますが、堅穴住居や墓の跡は地中に埋まっているため、気付かないうちに遺跡の上を歩いているかもしれません。

あつぎ郷土博物館では、公共施設や道路になっている遺跡や当時の姿を残す古墳など、市内各地区を代表する遺跡を紹介しています。展示を見た後は、最寄りの遺跡に足を運び、古代の暮らしに思いをはせるのはいかがでしょうか。

詳しくは博物館HPに掲載

あつぎ郷土博物館 ☎225-2515

(4) 展示会関連講座等

ア 展示関連講座

特別展・企画展の開催にあたり、見学者の理解を深め、また展示効果を高めるため、展示テーマに関連した講演会・体験学習を企画した。

回	開催日	テーマ	場所	人数
1	5月14日(土)	採って・見て・ふれて感じるバッタの魅力 講師：槐 真史(あつぎ郷土博物館学芸員)	体験 学習室	22
2	5月22日(日)	写真機撮影会 講師：大野一郎(あつぎ郷土博物館学芸員)	体験 学習室	23
3	7月30日(土)	縄文太鼓ライブ 公演 縄文太鼓いにしえ	体験 学習室	32
4	8月21日(日)	縄文中期の貯蔵と有孔鏝付土器の役割 講師：阿部昭典(千葉大学 准教授)	体験 学習室	48
5	8月27日(土)	縄文クッキーづくり 講師：ヤミラ(おかしづくり作家)	体験 学習室	43
6	9月4日(日)	土偶マイム 公演：白鳥兄弟	体験 学習室	77
7	9月11日(日)	有孔鏝付土器入門 講師：佐藤健二(文化財保護課職員)	体験 学習室	28
8	10月9日(日)	観察と実習 バッタ追っかけ隊 講師：槐 真史(あつぎ郷土博物館学芸員)	体験 学習室	26
9	10月15日(土)	観察と実習 バッタ追っかけ隊 講師：槐 真史(あつぎ郷土博物館学芸員)	体験 学習室	20
10	10月22日(土)	観察とお話し会「バッタと遊ぼう」 講師：槐 真史(あつぎ郷土博物館学芸員)	体験 学習室	54
11	11月3日(木)	観察と実習 バッタ追っかけ隊 講師：槐 真史(あつぎ郷土博物館学芸員)	体験 学習室	52
12	11月23日(水)	トノサマバッタはむね肉ともも肉が旨い！ 講師：内山昭一氏 (NPO法人昆虫食普及ネットワーク理事長)	体験 学習室	32
13	1月22日(日)	劇作家・芸能史家としての永田衡吉 講師：舘野太朗(東京文化財研究所)	体験 学習室	15

14	1月29日(日)	「寿式三番叟」「御祝儀三舞(獅子・大黒天・おかめ等)」公演：相模里神楽 垣澤社中	体験 学習室	50
15	2月5日(日)	国指定重要無形民俗文化財としての相模人形芝居 講師：大谷津早苗(昭和女子大学教授)	体験 学習室	30
16	2月18日(土)	国指定重要無形民俗文化・相模人形芝居の今後 講師：齊藤裕嗣(元文化庁調査官)	体験 学習室	19
17	2月25日(土)	寿式三番、音呬春白月 団子売り 公演：相模人形芝居 長谷座、入江敦子、竹本 土佐子	体験 学習室	57
18	3月19日(日)	厚木市内の遺跡について 講師：厚木市教育委員会担当者 中依知遺跡群の調査状況と成果について 講師：池田治((公財)かながわ考古学財団) 及川伊勢宮遺跡第3地点の調査状況と成果について 講師：宮井香((公財)かながわ考古学財団)	体験 学習室	60
合計(18回)				688

イ 展示解説

特別展・企画展の開催にあたり、見学者の理解を深め、また展示効果を高めるため、各展示担当の学芸員による展示解説を実施した。

	実施日	事業名	人数	小計 (人)
特別 展	7月23日(土)	展示解説 有孔鍔付土器と人体装飾文の世界 担当：佐藤健二(厚木市教育委員会)	9	38
	8月20日(土)		15	
	9月19日(月)		14	
企画 展	1月14日(土)	展示解説 相模人形芝居大会第50回記念展 人形とともにー相模人形芝居の50年ー 担当：大野 一郎(あつぎ郷土博物館学芸員)	—	10
	2月4日(土)		5	
	2月12日(土)		5	
	3月5日(日)		—	
地域 展	4月3日(日)	展示解説 厚木地域展 担当：あつぎ郷土博物館学芸員	—	28
	4月10日(日)		2	

4月17日(日)	4	
4月24日(日)	—	
5月1日(日)	—	
5月8日(日)	—	
5月15日(日)	4	
5月22日(日)	—	
5月29日(日)	—	
6月5日(日)	—	
6月12日(日)	16	
6月19日(日)	—	
6月26日(日)	2	
合計(10回)		76

2 普及啓発活動

あつぎ郷土博物館では、調査・研究の成果を活かした普及講座を行なっている。令和4年度は、土日を中心に普及活動を展開し、展示会において各担当学芸員が専門分野を活かした展示解説、講座・講演会を多数企画した。

(1) 定期講座

ア 博物館講座

	事業名	実施日	講座名	場所	人数
1	渡辺崋山講座	2月26日(日)	「神遊」と渡辺崋山 講師：横内謙介（劇団扉座主宰）	体験 学習室	55
2	古文書 講座	2月9日(木)	はじめての古文書 講師：飯田 好人（あつぎ郷土博物館学芸員）	体験 学習室	19
		2月16日(木)			19
		2月23日(木)			16
		3月9日(木)			18
		3月16日(木)			16
		3月23日(木)			16
		小計（6回）			
合計（7回）					159

イ 共催講座

郷土資料館の頃から、資料整理、調査、普及活動で協働してきた団体との活動を、あつぎ郷土博物館への移転後も継続、実施している。

団体（活動日）	回数	人数
古文書解説会（第2、3木曜日。第4木曜日は学習会）	26	384
合計（26回）		384

(2) 施設見学

あつぎ郷土博物館が収蔵する郷土資料について市民への公開を進めるため、小中学校、公民館、保育所などで出前展示、講座を実施している。

市内の小学生を対象とした施設見学では、教科に合わせて「昔のくらし」「博物館見学のマナー」等を説明した。

ア 小学校 10校

来館日	学校名	人数
5月31日（火）	依知南小学校 6年生	101
6月24日（金）	妻田小学校 4年生	98
10月6日（木）	清水小学校 学3年生	120
10月14日（水）	飯山小学校 3年生	30
10月18日（火）	北小学校 1年生	84
10月26日（木）	戸田小学校 3年生	50
11月4日（金）	依知小学校 3年生	58
11月10日（木）	戸田小学校 4～6年生	97
1月13日（金）	妻田小学校 3年生	85
1月20日（金）	北小学校 3年生	70
1月27日（金）	鳶尾小学校 3年生	70
2月8日（水）	七沢希望の丘初等学校	7
2月10日（金）	戸室小学校 3年生	90
合計（13回、10校）		960

イ 中学校 1校

来館日	学校名	人数
10月4日（火）	睦合東中学校	18
合計（1校）		18

ウ 幼稚園・保育園 （４園）

来館日	園名	人数
５月２６日（木）	田園幼稚園・年少	150
10月26日（水）	たちばな幼稚園	48
11月25日（金）	三田保育園	58
12月20日（火）	田園幼稚園・年長	160
２月15日（水）	玉川保育所	37
合計（４園）		453

エ 大学（２校）

来館日	大学名	人数
６月11日（土）	神奈川工科大学地域連携・貢献センター	20
８月24日（水）	神奈川工科大学	12
11月19日（土）	松蔭大学	20
合計（２校）		52

オ その他（26団体）

来館日	団体名	人数
６月２日（木）	日産労連エルダークラブ	15
６月２日（木）	文化財保護担当者会議	25
６月９日（木）	厚木南公民館	10
６月23日（木）	田園ひなし会（老人会）	16
６月30日（木）	相模原市新磯公民館	21
７月１日（金）	川崎市小学校社会科教育研究会	2
８月２日（火）	あさひ学苑ＩＴ校	16
８月７日（日）	横手市議会	10
８月18日（木）	荻野の歴史を学ぶ会	14
８月23日（火）	放課後等デイサービス	14
８月23日（火）	toiro茅ヶ崎	17
８月30日（火）	相川地区民生委員	12
９月３日（土）	あつぎ観光ボランティア協会	30
９月22日（木）	県央教育事務所研修	22
10月４日（火）	中学校教頭会	16
10月12日（水）	南毛利北地区民生委員会	43
10月15日（土）	小田急トラベル	23

11月23日(水)	ファミリーキッズ伊勢原7	25
12月1日(木)	くずはの家(秦野市)	10
12月8日(木)	荻野の歴史を学ぶ会	20
1月10日(火)	網走小学生(企画政策課)	21
2月4日(土)	大沢公民館(相模原市)	27
2月4日(土)	恩名自治会	20
2月13日(月)	厚木ユネスコ協会	10
2月16日(木)	高森町議会(長野県)	9
3月1日(水)	いせはら観光ボランティア ガイドウォーク協会	24
3月2日(木)	愛甲公民館	12
合計(26団体)		484

(3) 出前展示・講座

あつぎ郷土博物館が収蔵する郷土資料について市民への公開を進めるため、小中学校、公民館、保育所等で出前展示、講座を実施している。

ア 小学校

	開催日	学校(対象、内容)	人数
出前講座・ 展示 (小学校)	7月7日(木)	戸田小学校(4～6年生希望者) 昆虫について	97
	10月6日(木)	清水小学校3年生 みつけよう地域のたからもの	141
	11月10日(木)	戸田小学校(4～6年生希望者) 戸田の歴史について	97
	1月16日(月)	清水小学校3年生むかしの道具	141
	1月26日(木)	愛甲小学校3年生むかしの道具	88
	1月31日(火)	厚木小学校3年生むかしの道具	151
	2月2日(木)	戸田小学校3年生むかしの道具	50
	2月3日(金)	上依知小学校3年生むかしの道具	52
	2月6日(月)	三田小学校3年生むかしの道具	111
	2月7日(火)	相川小学校3年生むかしの道具	37
	2月9日(木)	荻野小学校3年生むかしの道具	31
	2月14日(火)	玉川小学校3年生むかしの道具	16
合計(12回、9校)			1,012

イ その他（公民館等）

	開催日	内容（団体）	人数
講師派遣 （公民館他）	5月12日（木）	特別研修（「厚木の修験者、民間信仰」について1） （厚木市古文書解説会）	16
	6月12日（日）	地域子ども教室推進事業 （森の里公民館）	中止
	6月16日（木）	特別研修（「厚木の修験者、民間信仰」について2） （厚木市古文書解説会）	20
	8月28日（日）	小鮎地区地域福祉推進委員会委員研修会（小鮎公民館）	50
	9月21日（水）	南毛利と鎌倉幕府の関わり （南毛利公民館）	30
	9月27日（火）	「再発見」妻田薬師探訪 （睦合南公民館）	25
	9月30日（金）	友好都市北海道網走市の自然 （南毛利公民館）	40
	10月10日（月）	厚木市域の鎌倉時代1 （厚木毛利氏プロジェクト）	50
	10月15日（土）	相川地区史跡めぐり （相川公民館）	20
	10月23日（日）	厚木市域の鎌倉時代2 （厚木毛利氏プロジェクト）	50
	11月3日（木）	厚木市域の鎌倉時代3 （厚木毛利氏プロジェクト）	50
	11月12日（土）	玉川地区の歴史を学ぼう （玉川公民館）	15
	11月17日（木）	大江広元と毛利季光 （厚木市古文書解説会）	13
	11月19日（土）	特別講座 （厚木北地区文化振興会）	20
	11月26日（土）	寺子屋 （教育研究所）	20
	12月8日（木）	古文書の知識と整理法について （荻野の歴史を学ぶ会）	20
	12月18日（日）	玉川地区の歴史を学ぼう （玉川公民館）	15
	1月22日（日）	玉川地区の歴史を学ぼう （玉川公民館）	15
	2月19日（日）	玉川地区の歴史を学ぼう （玉川公民館）	15
	2月20日（月）	渡辺華山を訪ねて （厚木南公民館）	10
	3月6日（月）	あつぎの食と農業に関する講演 （厚木市農業協同組合）	20

	3月25日(土)	厚木市の毛利家について (山口七夕会)	45
合 計 (21 回)			559

(4) レファレンス業務

地域資料に関する市民の疑問、質問の相談に対し、あつぎ郷土博物館が調査・収集・研究している情報に基づいて回答している。令和4年度の業務件数は以下のとおり。

ア 一般回答 総数92件（うち人文系86、自然系3、その他3）

分野	質問者	相談内容	内容、対応
人文	一般	地区の歴史について	市内地区や地域の歴史について問合せが数件あった
	一般	厚木に関係する人物について	和田傳、渡辺華山、毛利氏などを紹介した。
	一般	養蚕資料について	博物館資料を用いて説明をした。
	一般	市内関連史跡について	鎌倉時代の史跡などについて質問が数件あった。
自然	一般	地層について	市内の地層について
その他	一般	博物館の災害ネットワーク等について	県博物館協会の取り組みについて紹介した。

イ メディア対応 総数19件（掲載16件、放送3件）

種類	掲載、放映日	取材内容
掲載	4月5日(火)	ミニコミ誌伝書鳩「郷土学習の副読本 あつぎの友好都市あばしりの自然」について
掲載	4月12日(火) 4月13日(水)	タウンニュース 地域展「地域再発見！1 厚木地域 ～家康・芸妓・ヨシゴイ～」の趣旨などについて
掲載	4月18日(月)	タウンニュース「岸邸の端午の節句」について
掲載	5月18日(水)	タウンニュース「星下りの奇瑞」について
掲載	6月16日(木)	神奈川新聞「寄贈資料である映像記録(8mmフィルム)の内容や寄贈の経緯」について
掲載	7月21日(木)	タウンニュース「寄贈資料である映像記録(8mmフィルム)の内容や寄贈の経緯」、「有孔鍔付土器と人体装飾の世界の展示」について

掲載	7月31日（日）	タウンニュース「有孔罫付土器と人体装飾文の世界の関連講座」について
放送	8月9日（火）	エフエムさがみ それいけ月光団本部 「荻野山中藩陣屋」について
掲載	8月18日（金）	神奈川新聞「有孔罫付土器と人体装飾文の世界」、「縄文土器と弥生土器の違い」について
掲載	9月18日（日）	タウンニュース「有孔罫付土器と人体装飾文の世界の関連講座」について
掲載	10月19日（水）	読売新聞「来館者 10 万人達成記念セレモニー」について
掲載	10月19日（水）	タウンニュース「来館者 10 万人達成記念セレモニー」について
掲載	10月11日（火） 10月14日（金） 10月30日（日）	朝日新聞「バッタ -はねる、飛ぶだけじゃないバッタの魅力-の趣旨、関連講座の内容」、「バッタの研究」について
放送	11月15日（火）	NHK 横浜放送局「「バッタ展」で展示中の「バッタ煎餅」」について
放送	1月31日（火）	エフエムさがみ それいけ月光団本部 「人形とともに-相模人形芝居の 50 年-」について
掲載	2月8日（水）	タウンニュース「岸邸の雛まつり及び人形とともに-相模人形芝居の 50 年-の展示内容」について
掲載	2月13日（月）	タウンニュース「人形とともに-相模人形芝居の 50 年-の講座の内容、永田衡吉」について
掲載	2月13日（土）	読売新聞「岸邸の雛まつり及び岸邸」について
掲載	2月22日（水）	神奈川新聞「人形とともに-相模人形芝居の 50 年-」について

（5）学芸員実習、職場体験学習等

ア 博物館実習

学芸員実習について公募したが、応募者がいなかったため実施には至らなかった。

イ 職場体験学習

依知中学校 2 年生 2 人の生徒を受け入れた。（9 月 7 日～8 日）

ウ 教員の 5 年経験者研修（社会体験研修）

藤塚中学校の教員を 1 人受け入れた。（8 月 2 日～4 日）

県立愛川高校の教員を 1 人受け入れた。（8 月 2 日～3 日）

(6) ワークショップ

松ぼっくりでクリスマスツリーづくり

あつぎ郷土博物館へ気軽に足を運んでもらうため、博物館の庭にある大王松の松ぼっくり等を使ってクリスマスツリーを作るイベントを実施した。

開催日	内容	場所	参加者数
12月18日（日）	松ぼっくりでクリスマスツリーづくり	体験学習室	30

(7) その他

あつぎ郷土博物館来館者 10 万人達成記念イベント

あつぎ郷土博物館が開館し、来館者数が10万人を達成したことをお祝いし、関連イベントを実施した。

開催日	内容	場所	参加者数
10月16日（日）	来館者10万人達成記念セレモニー	体験学習室	30
10月16日（日）	缶バッジ及びバルーンアートづくり 講師：文化財保護課職員	体験学習室	50
10月30日（日）	来館者10万人達成記念ミュージアムコンサート 講師：玉川アルプホルンクラブ	体験学習室	174
合計（3回）			254

3 刊行物

あつぎ郷土博物館では、展示の内容をより深く理解する手立てとして基本展示図録、特別展示図録などを刊行している。

従来、事業周知を目的とし、月1度の発行としてきた『郷土資料館NEWS』は、『あつぎ郷土博物館NEWS』と改称し、刊行を続けている。

また、事業報告を行ってきた『郷土資料館年報』についても、『あつぎ郷土博物館年報』として同様にネット上で公開している。

(1) 展示会図録等

[あつぎ郷土博物館 基本展示図録]			
『あつぎ郷土博物館 基本展示図録』	2019.01	A 4 版	1,000部
『あつぎ郷土博物館 基本展示図録』	2019.06	A 4 版	1,000部(初版2刷)
[あつぎ郷土博物館 特別展示図録]			
『開館記念特別展 みる、しる、たのしむ 浮世絵の世界—歌麿・北斎・広重—』	2019.01	A 4 版	1,000部
『あつぎの花咲く植物の世界—神奈川県植物誌2018の成果をひもとく—』	2020.01	A 4 版	1,000部
『優しい旅びと・渡辺崋山—「厚木六勝」と「游相日記」—』	2020.09	A 4 版	1,000部
『有孔罎付土器と人体装飾文の世界』	2022.07	A 4 版	1,000部(無償頒布)
[あつぎ郷土博物館 郷土学習の副読本]			
『あつぎの友好都市 あばしりの自然』	2022.03	A 5 版	2,000部
[あつぎ郷土博物館 企画展小冊子] (無償頒布)			
『バッターはねる、飛ぶだけじゃないバッタの魅力—』	2022.11	A 5 版	1,000部 1,000部(増刷)
『相模人形芝居大会第50回記念展 人形とともに—相模人形芝居の50年—』	2023.02	A 5 版	1,000部

(2) 博物館NEWS等

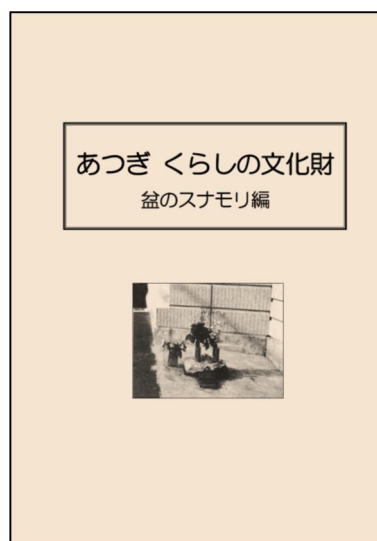
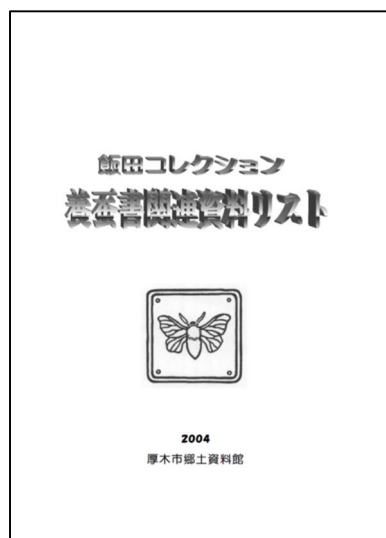
[あつぎ郷土博物館 NEWS 号外]			
『あつぎ郷土博物館 NEWS 号外』(1～3月号)	2019.4～6	A 4 版	1,150部
[あつぎ郷土博物館 NEWS]			
『あつぎ郷土博物館 NEWS』(1～12月号)	2020.4～2021.3	A 4 版	1,350部
『あつぎ郷土博物館 NEWS』(1～12月号)	2021.4～2022.3	A 4 版	1,350部
『あつぎ郷土博物館 NEWS』(1～12月号)	2022.4～2023.3	A 4 版	880部
[(仮称) あつぎ郷土博物館 準備NEWS]			
『(仮称) あつぎ郷土博物館 準備NEWS』(1～9号)	2018.4～12	A 4 版	1,350部

【参考】厚木市郷土資料館 刊行物

[郷土資料館 常設展示図録]			
『常設展示図録 あつぎ百科』	1998. 11	B 5 版	1, 500部
[郷土資料館 特別展示図録]			
『第1回 おおやまの生きもの』	1998. 11	A 5 版	1, 500部
『第2回 出開帳』	1999. 11	B 5 版	1, 500部
『第3回 化 石』	2000. 7	A 4 変形	1, 500部
『第4回 東海道と矢倉沢往還』	2001. 9	A 4 版	1, 000部
『第5回 あつぎ地域の草木☆花めぐり』	2002. 12	A 5 版	1, 000部
『第6回 農具から農機具へ～流通民具が語るもの～』	2003. 11	A 4 版	1, 000部
『第7回 養蚕書と出版文化～養蚕文化はどう伝わったのか～』	2004. 11	A 4 版	1, 000部
『第8回 相模川の生きものに親しむ』	2005. 11	A 5 版	1, 000部
『第9回 商家と看板』	2007. 2	A 4 版	1, 000部
『第11回 本厚木駅と厚木駅～小田急、相鉄、相模線とあつぎ～』	2008. 11	A 4 版	1, 000部
『第12回 あつぎのむし』	2009. 11	A 5 版	1, 000部
『第13回 ー引札、チラシ、マッチラベル、錦絵、看板ー 広告メディアが語る「商い」と地域の変遷』	2010. 11	A 4 版	1, 000部
『第14回 あつぎ あきのむし』	2011. 10	A 5 版	1, 000部
『第15回 あつぎ 縁起書の世界ー神さま仏さまのプロフィールー』	2012. 11	A 4 版	1, 000部
『第16回 あつぎの野鳥』	2013. 11	A 5 版	500部
『第17回 化粧』	2014. 11	A 4 版	500部
『第18回 あつぎの草木＊花めぐり』	2015. 11	A 5 版	500部
『第19回 あつぎと酒』	2016. 11	A 4 版	500部
※第6回のみ無償、他は有償頒布。第10回は開館10年記念展。			
[郷土資料館開館10年記念特別展図録] (無償頒布)			
『郷土資料館開館10年記念特別展 あつぎ文化財まつり』	2007. 11	A 4 版	2, 000部

[厚木市郷土資料館資料]

『飯田コレクション 養蚕書関連資料リスト』	民俗資料調査報告	2005. 3. 31	A 4 版	150部
『飯田コレクション 養蚕書関連資料リスト』	民俗資料調査報告	2006. 3. 31	A 4 版	150部
『飯田コレクション 地域関連資料リスト1』	民俗資料調査報告	2006. 3. 31	A 4 版	200部
『あつぎ くらしの文化財 盆のスナモリ編』	民俗資料調査報告	2006. 11. 30	A 4 版	50部



▲第7回 養蚕書と出版文化の借用資料の調査報告書（2006 年 3 月刊行）

▲会員の調査を一冊の報告書にまとめ、刊行（2006 年 11 月刊）

[郷土資料館 収蔵資料展示図録]

『第1回 厚木の画家 島村亮』	1998. 12	A 4 版	500部
『第7回 町場のくらしと民具』	2000. 2	A 4 版	500部
『第9回 職人の道具』	2000. 6	A 4 版	500部
『第11回 鎧と刀』	2000. 12	A 4 版	500部
『第12回 あつぎの野鳥』	2001. 2	A 4 版	500部
『第13回 活動する青年たち』	2001. 6	A 4 版	500部
『第16回 あつぎの民俗芸能』	2001. 12	A 4 版	500部
『第18回 村の古文書一馬場文書一』	2002. 5	A 4 版	500部
『第19回 あつぎの修験者』	2002. 8	A 4 版	500部
『第20回 厚木の文学者 和田傳』	2003. 2	A 4 版	500部

[郷土資料館 NEWS]

『郷土資料館 NEWS』	(1 号)	1999. 3	A 4 版	500部
『郷土資料館 NEWS』	(2 号～13号)	1999. 4～2000. 3	A 4 版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(14号～25号)	2000. 4～2001. 3	A 4 版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(26号～37号)	2001. 4～2002. 3	A 4 版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(38号～49号)	2002. 4～2003. 3	A 4 版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(50号～61号)	2003. 4～2004. 3	A 4 版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(62号～73号)	2004. 4～2005. 3	A 4 版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(74号～85号)	2005. 4～2006. 3	A 4 版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(86号～97号)	2006. 4～2007. 3	A 4 版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(98号～109号)	2007. 4～2008. 3	A 4 版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(110号～121号)	2008. 4～2009. 3	A 4 版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(122号～133号)	2009. 4～2010. 3	A 4 版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(134号～145号)	2010. 4～2011. 3	A 4 版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(146号～157号)	2011. 4～2012. 3	A 4 版	各600部
『郷土資料館 NEWS』	(158号～169号)	2012. 4～2013. 3	A 4 版	各650部
『郷土資料館 NEWS』	(170号～181号)	2013. 4～2014. 3	A 4 版	各650部
『郷土資料館 NEWS』	(182号～193号)	2014. 4～2015. 3	A 4 版	各650部
『郷土資料館 NEWS』	(194号～205号)	2015. 4～2016. 3	A 4 版	各650部
『郷土資料館 NEWS』	(206号～217号)	2016. 4～2017. 3	A 4 版	各650部
『郷土資料館 NEWS』	(218号～229号)	2017. 4～2018. 3	A 4 版	各660部

なお、郷土資料館開館以前、市立博物館展示準備のための基礎調査報告書については、『厚木市博物館資料』という体裁で、以下のように刊行し、資料目録（購入、収集、寄贈）も同じシリーズにて発刊してきた。資料館開館後の資料の調査、整理等に関する報告等については、『郷土資料館資料』というタイトルで資料館閉館まで刊行を続けた。

[厚木市博物館資料]

『厚木市荻野の動物Ⅰ』	1995. 3
『厚木市荻野の植物Ⅰ』	1995. 3
『谷戸田のムラ』	1995. 3
『鐘ヶ嶽東方の七沢石』	1995. 3
『最勝寺墓石調査報告書』	1996. 3
『厚木市荻野の植物Ⅱ』	1996. 3
『金光山最勝寺墓石調査報告書』	1995. 3
『収蔵資料目録 1 寄贈・購入昆虫標本目録 (1)』	1997. 3
『収蔵資料目録 2 寄贈・寄託維管束植物目録 (1)』	1997. 3
『厚木市相模川の動植物』	1998. 3
『長福寺墓石調査報告書』	1997. 3
『収蔵資料目録 3 脇一郎寄贈蝶類コレクション目録 』	2005. 3

[博物館収蔵資料展図録]

『第1回 博物館収蔵資料展 坂東彦三郎と厚木』	1994. 2
『第2回 博物館収蔵資料展 世界のチョウ・厚木のチョウ』	1994. 11
『第3回 博物館収蔵資料展 幕末－相州厚木－』	1995. 2
『第4回 博物館収蔵資料展 一夏の風物誌－花火』	1995. 7
『第5回 博物館収蔵資料展 厚木の植物－植物に魅せられた人々－』	1996. 2
『第6回 博物館収蔵資料展 広重の富士三十六景－厚木と富士信仰－』	1996. 7
『第7回 博物館収蔵資料展 厚木の里山をあるく』	1997. 3
『第8回 博物館収蔵資料展 旅－村、往還そして街道－』	1997. 12

4 古民家岸邸

厚木市指定有形文化財である旧岸家住宅を展示場として、市民から寄贈された五月人形や雛人形などの展示を行った。

(1) 展示

	タイトル	期 間	入 数
1	古民家岸邸の端午の節句	4月20日（水）～5月8日（日）	457
2	あつぎ古民家岸邸の七夕	6月29日（水）～7月18日（月）	122
3	古民家岸邸の雛まつり	2月15日（水）～3月12日（日）	1,240
合計 3回			1,819

(2) 解説

	開催日	団 体	人 数
岸邸の建築	7月15日（金）	はあと♡さろん	15
岸邸の建築	8月20日（土）	放課後等デイサービスルピナス	15
岸邸の建築	9月22日（木）	神奈川県教育委員会教育局県央教育事務所	13
合計 3回			43



5 資料の収集・保管・活用（令和5年3月31日現在）

(1) 資料の収集状況

あつぎ郷土博物館は、前身である郷土資料館の頃から、郷土 厚木の歴史、民俗、自然に関する資料を購入、寄贈、寄託、採集などの方法で収集を行ってきた。令和5年3月31日現在、資料調査、整理を進め、資料件数を点数に改めるなどの精査を行った結果、新たに寄贈を受入れた資料520点を加え、合計点数は **184,968点** となった。

収集した資料は、各種展示会等において展示公開を進めている。

ア 入手方法別 資料の収集状況（累計）

	購入資料	寄贈資料	寄託資料	採集資料	その他	合計(点)
人 文	4,733	20,215	6,823	0	285	32,056
自 然	1,511	24,961	1,436	124,956	48	152,912
合 計	6,244	45,176	8,259	124,956	333	184,968

イ 寄贈資料の受け入れ状況（19件、520点 寄贈者敬称略）

受入年月日	資 料 名	寄贈者	数量
4月1日	虚月句碑(旧寄託資料)	厚木市文化財協会	3
4月1日	東町資料(旧寄託資料)	厚木市文化財協会	58
4月5日	戦争関連資料一括 他	種子 彰	24
4月7日	鍛冶屋の道具一括	安斎 克己	87
4月16日	『世界の博物館』	中川 重年	23
6月11日	和田傳書「白雲抱幽石」	加藤 芳明	2
6月11日	唐箕（睦合村及川 鈴木製作所製） クルリ棒	有限会社 神崎工務店	2
7月7日	真空管ラジオ、掛軸 他	剣持 三春	16
8月4日	古文書	永野 勝康	172
8月4日	荻野村警防団 第二分団半被	田中 昭一	1
8月25日	ヒメフチドリゲンゴロウ (♂・♀ 生体) 他	輪島 啓介	3
11月13日	儀式用汁椀(塗物、坂下・坂の印有)他	伊東 美佐子	15
11月13日	脇差、刀、大蔵寺甕穴墓資料一括	愛甲東大蔵寺	6
1月6日	沼田貞芳氏直筆浄瑠璃本他	林田 洋子	79
1月25日	『丸川講の歴史』（佐藤大和著、2021）他	佐藤 大和	2
2月27日	ダイカイ（割り椀タイプ）、袖搦 他	川井 朝子	4
3月11日	㊦ 片倉講習記念 昭和八年十一月写他	三ツ木 京子	4
3月18日	『宗教政治家安藤覚伝』（遠藤徳英著）他	山田 直人	4
3月20日	「教光の花」（愛甲郡厚木町立青年学校）他	清水 辰弘	15
合 計			520

(2) 収集資料の保管状況

あつぎ郷土博物館収蔵資料の多くは、博物館内の4室の収蔵庫に収蔵、保管されている。

その他にも、昭和40年代から収集を進めてきた民具などの民俗資料は、博物館敷地内の郷土資料収蔵庫(=写真)、三田公共用地内のコンテナ3基に収蔵している。

あつぎ郷土博物館内に設置された収蔵庫は、

常時空調機を使用し、文化庁が推奨する湿度55%±5%、室温は摂氏22度±5度の温湿度を保つように設定している。

美術、人文、自然、液浸、それぞれの資料の内容により標本箱や文書箱を使用する等、専用の保存収蔵庫に収納、保存している。全館燻蒸は令和元年度に行ったが、今後は環境調査の結果によって行うものとしている。企画展示室は年1回、大型借用資料の搬入時等に合わせて燻蒸を行っている。



ア 収蔵施設別 資料の保管状況

	あつぎ郷土博物館 収蔵庫	郷土資料収蔵庫	三田コンテナ	合計(点)
人 文	13,267	17,575	1,214	32,056
自 然	152,912	0	0	152,912
合 計	166,179	17,575	1,214	184,968

イ 収蔵施設面積

	あつぎ郷土博物館 収蔵庫	郷土資料収蔵庫	三田コンテナ	合計(m ²)
面積	497	348	108	953

(3) 資料の館外貸出等

ア 館外貸出 6件

申請日	期 間	資 料 名	貸 出 先	数 量
5月26日	8月31日～ 1月5日	唐草文軒平瓦 (八事裏山産) 軒平瓦片 (八事裏山産)	神奈川県立歴史博物館	2
7月19日	8月1日～ 8月31日	戦争関連資料	福祉総務課	15
8月19日	8月24日 ～8月31日	有孔罎付土器レプリカ (1)、土器片(2)、クルリ棒 (2)、地神掛軸(1)、古文 書(3)	東海大学	9
10月27日	10月27日～ 11月7日	千歯扱(2)、足踏み脱穀機 (1)	七沢希望の丘初等学校	3
1月20日	1月24日	むかしの道具一式	厚木市立南毛利小学校	1
2月13日	2月16日 ～2月28日	土器片(土師器、須恵器) (11)、古文書(10)	東海大学	21

イ 特別利用 15件

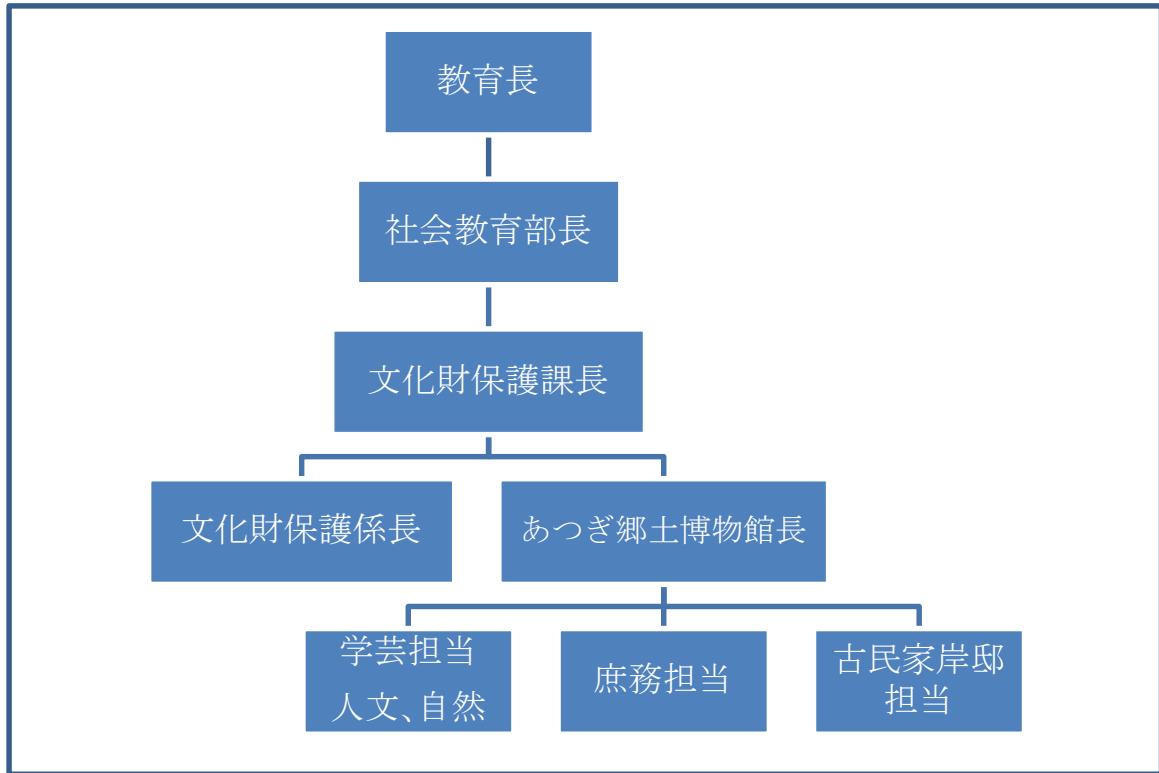
申請日	資 料 名	利 用 者	形 態
4月7日	植物標本	ふじのくに地球環境史 ミュージアム	閲覧
5月2日	和田家文書「五人組仕置帳」 (慶応4年2月)	個人	その他
5月31日	「厚木六勝(写真版)」、 「厚木宿」(F.ベアト撮影)、 「游相日記」	公益財団法人 厚木市文化振興財団	展示
6月3日	「宮ヶ瀬へ向かう道に架かる飯 山の橋」、「宮ヶ瀬」(F.ベアト 撮影)	小学館	掲載
6月10日	あつぎ郷土博物館内写真	個人	掲載
7月4日	「箱根宿」(F.ベアト撮影)	株式会社 リゲル社	掲載
8月26日	「売薬請売願」「行商届」「銭氏 鎮驚丸」	求菩提資料館	閲覧 撮影
9月5日	浮世絵「頼朝公富士之御狩図」 (歌川国芳) 浮世絵「頼朝公富士之御狩図」 (歌川芳勝)	株式会社 タウンニュース社	掲載

申請日	資料名	利用者	形態
9月12日	浮世絵「頼朝公富士之御狩図」 （歌川国芳） 浮世絵「頼朝公富士之御狩図」 （歌川芳勝）	個人	閲覧 撮影
9月14日	有孔鍔付土器 （林王子遺跡出土）	福井県立こども歴史 文化館	展示
10月16日	むしろ編み機、わら縄編み機	個人	閲覧 撮影
11月18日	生麦（F.ベアト撮影）	個人	掲載
11月21日	広重「不二三十六景 相模川」	株式会社 小田急エージェンシー	掲載
12月26日	「宮ヶ瀬」（F.ベアト撮影）	県央地域 県政総合センター	掲載
3月9日	古民家岸邸	三井不動産リアルティ 株式会社 本厚木センター	掲載

Ⅲ 庶 務

1 組織及び職員

(1) 組 織 (令和5年3月31日現在)



(2) 博物館協議会

ア 委員構成 (令和5年3月31日現在) (五十音順)

氏 名	所属 (分野)	氏 名	所属 (分野)
明戸 葉子	厚木市上戸田児童館指導員	広谷 浩子	神奈川県立生命の星・地球博物館学芸員
小松 秀雄	元ポーラ文化研究所長(歴史)	松野 勝	あつぎ郷土博物館地域連絡会会員 元青年の家跡地研究会
鈴木 通大	神奈川大学日本常民文化財研究所客員研究員	望月 一樹	神奈川県立歴史博物館館長
手塚 真理	秦野市くずはの家の自然観察指導員・元市川市立市川自然博物館学芸員	吉崎 健二	公募による選考
馬場 弘臣	東海大学教育開発研究センター教授 (歴史)	吉田 文雄	公募による選考

イ 会議の開催

日 時	内 容
6 月 29 日	令和 3 年度あつぎ郷土博物館事業報告、令和 4 年度あつぎ郷土博物館事業計画について
2 月 22 日	令和 4 年度あつぎ郷土博物館事業報告、令和 5 年度あつぎ郷土博物館事業計画及び長期計画について

2 施 設

(1) あつぎ郷土博物館

ア 建設概要

位 置	神奈川県厚木市下川入1366番地 4
敷 地 面 積	10,025㎡
建 物 構 造	鉄筋コンクリート造 地上 2 階建
建物床面積	1,590.10㎡ ・延床面積 1 階 1,092.59㎡、2 階 497.51㎡
開館年月日	平成 31 年 1 月 27 日

イ 展示等面積

基本展示室(1階)	304.15㎡
企画展示室(1階)	85.51㎡
体験学習室(1階)	130.70㎡ (体験学習室 1、2)
専門書庫(1階)	52.70㎡
収蔵庫(1階)	32.29㎡ (化石岩石展示・収蔵室)
展示準備(1階)	90.38㎡ (荷解き場、展示準備室等)
事務・学芸室(1階)	68.22㎡
収蔵庫(2階)	312.25㎡ (人文、美術、自然、液浸)
施設管理室(1、2階)	245.24㎡ (消火ポンベ室、機械室、エレベーター等)
共用部他(1、2階)	268.66㎡ (エントランスホール、トイレ・授乳室他)

(2) 古民家岸邸

位 置	神奈川県厚木市上荻野792番地 2
敷 地 面 積	1,746.25㎡
建物床面積	520.13㎡（主屋 1 階 272.25㎡ 2 階 140.24㎡ 土蔵 1 1 階 33.12㎡ 2 階 33.12㎡ 土蔵 2 1 階 20.70㎡ 2 階 20.70㎡）
建設年月日	明治24年（1891年）
建物の特徴	岸邸の主屋は、木造 2 階建て、寄棟造瓦葺。間取りは、一階が土間をもつ六間取りを基本にいくつかの部屋を追加している。二階は、12.5畳の部屋から横一列に 3 室ならび、その他10畳弱の洋間が造られている。部屋は全部で15室あり、敷地面積は約520坪。 この建物の特徴として次の 3 点があげられる。 ① 使用されている木材の質が極めて高く、仕上も入念である。 ② 各部の意匠は通り一遍でなく、十分な手間がかけられ、随所に凝った意匠を展開している。 ③ 近世以来の伝統的な農家の間取りである六間取を基本にしながら、本格的な二階座敷を持ち、しかもこの時期には珍しかったであろう瓦葺とするなど、時代の転換期の先端的な様式を併せ持っている。



3 入館者数

(1) 令和4年度 あつぎ郷土博物館 月別入館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入館者	1,730	1,725	2,032	1,666	3,054	2,063	1,881	1,826	972	1,890	2,109	2,167
開館日	29	30	29	27	30	28	27	29	20	27	27	29
平均	60	58	70	62	102	74	70	63	49	70	78	75
累計	1,730	3,455	5,487	7,153	10,207	12,270	14,151	15,977	16,949	18,839	20,948	23,115

(2) あつぎ郷土博物館 年度別入館者数

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
入館者	11,664	36,586	19,549	19,228	23,115	110,142
開館日	63	320	226	282	332	1,223
平均	185	114	87	68	70	90

*平成30年度は、博物館建設準備のため4月1日から1月25日まで郷土資料館（寿町）を休館し、1月27日からあつぎ郷土博物館（下川入）として開館した。

入館者数は1月27日から3月31日までの人数。

*令和元年度は、新型コロナウイルス感染対策のため3月4日から3月31日まで休館。

*令和2年度は、新型コロナウイルス感染対策のため4月1日から5月26日まで休館。1月12日から3月21日まで休館。

*令和3年度は、新型コロナウイルス感染対策のため8月7日から9月30日まで休館。

【参考】郷土資料館（あつぎ郷土博物館の前身） 利用者数の推移

	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
入館者	4,233	8,685	11,887	12,701	9,424	5,268	8,089	8,076	7,212	12,264	15,001
開館日	144	331	328	329	340	340	340	340	349	353	349
平均	29	26	36	39	28	15	24	24	21	35	43

	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	合計
入館者	13,042	12,310	12,895	14,176	13,109	14,289	11,741	8,760	6,338	209,500
開館日	349	351	350	350	350	350	350	359	359	6,711
平均	37	35	37	41	37	41	34	24	18	31

*平成10年度は、11月3日から翌3月31日までの人数。

*平成15年度は、6月15日から9月13日まで耐震工事のため2階展示室を閉鎖。

*平成29年度は、10月1日から、移転準備に伴い2階全フロアを閉鎖。

(3) 令和4年度 古民家岸邸 月別利用者数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
入館者	254	322	105	159	96	68	67	69	69	104	691	672
開館日	22	21	22	23	20	20	22	21	18	20	20	23
平均	12	15	5	7	5	3	3	3	4	5	35	29
累計	254	576	681	840	936	1,004	1,071	1,140	1,209	1,313	2,004	2,676

(4) 古民家岸邸 年度別利用者数

	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
入館者	4,229	3,282	5,288	3,506	3,587	3,167
開館日	213	357	357	359	360	359
平均	20	9	15	10	10	9

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
入館者	2,806	2,737	3,834	3,429	3,681	3,242
開館日	359	359	360	359	359	359
平均	8	8	11	10	10	9

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
入館者	2,838	4,463	3,134	3,859	4,253	4,306
開館日	360	252	250	249	252	252
平均	8	18	13	16	17	17

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
入館者	3,589	3,420	2,130	624	1,620	2,676
開館日	252	252	230	161	215	252
平均	14	14	9	4	8	11

	合計
入館者	79,700
開館日	7,127
平均	11

＊令和元年度は、新型コロナウイルス感染対策のため3月4日から3月31日まで休館。

＊令和2年度は、新型コロナウイルス感染対策のため4月1日から5月26日まで休館。1月12日から3月21日まで休館。

＊令和3年度は、新型コロナウイルス感染対策のため8月7日から9月30日まで休館。

あつぎ郷土博物館年報 5

発行日	令和5年5月31日
編集	あつぎ郷土博物館 〒243-0206 厚木市下川入1366番地4 TEL 046-225-2515
発行	厚木市教育委員会